



建 第 62 号  
平成19年4月17日

国土交通省道路局長 様

南陽市長 塩田 秀雄



中期的な計画の作成にあたっての意見提出について (回答)

平成19年4月2日付け、国道企第114号で依頼あったことについて別紙のと  
おり意見を提出します。

担当課：建設課 安彦 博  
電話：0238.40.3211  
内線 321

## 今後の道路政策や道路の整備・管理についてのご意見

### 重点化を進める上で特に優先度の高い政策

#### 1. 都市の骨格となる高規格道路ネットワーク

都市機能が集約されている現状ではネットワークは欠かせない、緊急時や災害時も広域的な連携を担う、今後のまちづくりの骨格となる。

#### 2. 雪に強く冬でも安全な道路整備

雪国では冬季の生活に大きな負荷が生じる。支障なく生活を営み社会参加するためにも優先すべきである。

#### 3. 地域の実情と特性に即した道路整備

不要なものはそぎ落とし便益性や使い易さを配慮した道路整備を迅速に推進すべきである。

### 効率化を徹底的に進める上で重視すべきこと

#### 1. 事業のスピードアップ

社会情勢は刻々と変化しており素早く応えることが重要である。地方では景観より機能を優先するし、機が熟したときに事業を完結できれば便益も向上し喜ばれる。

#### 2. 維持管理費がかからない道路づくり

維持管理費の増嵩は地方自治体の財政を圧迫している現状から、必要経費を徹底して縮減できる道路づくりを望む。地方ではまだまだ道路整備の要望が多くその費用に回せるようにしたい。

### その他、道路政策や道路の整備・管理全般に関するご意見

1. 地方の道路整備に財源の重点化と補助対象の拡大を。
2. 除排雪事業に対する支援制度を。
3. 道路沿線のゴミ散乱が目に見える実態である、有効な手段はないか。